

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援つくし		
○保護者評価実施期間	R7年 1月10 日		～ R7年1 月22 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	R7年 1月10 日		～ R7年1 月22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2 月14 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書と日々の支援記録の連携によるPDCAサイクルの支援体制強化。	一人一人を考えた個別支援計画書に沿った支援を行い目標達成をするためのスモールステップの支援をしていく。	スタッフ間で「小さな出来た」を共有し自己肯定感を高めていきたい。
2	多職種連携による支援。	保育士、看護師、理学療法士、介護福祉士の多職種が専門分野の視点から様々な意見を出し合い支援していく。	研修や日々の研鑽でスキルアップしより良い支援繋げていきたい。
3	ご家族へのサポート体制の充実。	連絡ノートやお迎え時に、ご家庭での様子や利用時の活動報告をする事で情報を共有しています。相談は、随時お受けし面談を行っています。また年2回の保護者会を開催しています。	ご家族が、職員に話をし易い雰囲気づくりをし相談には随時対応していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他機関と交流する機会が少ない。	学校、行政とは、情報の共有が出来ているがその他機関との連携をする場を設けることが出来なかった。	関連機関に積極的に働きかけ交流する場を持ちたい
2			
3			